

SUPPLEMENT TO GENES GENET.SYST. (2015)90(1) February 2015

GSJ コミュニケーションズ

PROCEEDINGS OF THE SOCIETY

GENETICS SOCIETY OF JAPAN (GSJ)

◆創立1920年◆

日本遺伝学会

<http://gsj3.jp>



目 次 頁

太田朋子名誉会員がクラフォート賞を受賞 3

自然史学会連合より「理科好きな子に育つふしぎのお話365」が出版されました 3

重要なお知らせ 4

日本遺伝学会第87回大会ニュース（その3） 5

本 会 記 事

会員異動 14

The Crafoord Prize in Biosciences 2015

太田朋子名誉会員が クラフォード賞を受賞



太田朋子名誉会員に
2015年のクラフォード賞が贈られました。

授賞に関する3日間の行事「クラフォードデイ」が5月5日から7日にかけておこなわれました。日本学術振興会（JSPS）ストックホルム研究連絡センターよりご提供いただいた写真や資料、クラフォードデイの詳細は国立遺伝学研究所のホームページをご覧ください。

<http://www.nig.ac.jp>

また、三島市の名声を高め、市民に夢と希望を与えた
太田名誉会員に、三島市長特別賞が贈られました。

自然史学会連合より
「理科好きな子に育つ
ふしぎのお話365」
が出版されました。

詳細は自然史学会連合ホームページを
ご参照ください。

<http://ujsnh.org/info.html#infoPubli>



重要なお知らせ

すでにご存知の方も多いと思いますが、人気グループ「嵐」のコンサートが9月19日－23日にかけて仙台においておこなわれることが発表されました。

このため、この時期に仙台及び周辺地域のホテルを予約することが実質的に不可能となっており、当初の予定通り9月23日に遺伝学会大会を始めることが極めて困難な状況であります。

大会準備委員会と学会執行部で鋭意検討しました結果、第87回大会の日程は、1日後ろにずらして、9月24日－26日とすることにいたしました。

止むを得ない突発的事項でございますので、皆様のご理解をお願い申し上げます。皆様の第87回大会への参加をお待ちしております。

第87回日本遺伝学会大会

大会委員長・西尾 剛

日本遺伝学会

会長・遠藤 隆

日本遺伝学会第87回大会ニュース

2015年の第87回大会は、東北大学（川内北キャンパス）を会場として、下記のような企画の準備を進めております。全国から多くの皆様のご参加をお待ちしております。

大会ホームページ (<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/>) では、最新の情報を順次掲載しております。ランチョンセミナー、機器・試薬等展示、広告掲載、会場へのアクセスについての詳細は大会ホームページをご覧ください。

第87回大会でも学生の参加を歓迎するため、学生会員および学生非会員の参加費は無料とし、演者には旅費の一部援助もおこないます。

優れた発表は Best Papers (BP) 賞として表彰いたします。なお、昨年度 BP 賞の一部は学会長主催プレナリールワークショップとして講演披露されます。

1. 会 期： 2015年9月24日(木)・25日(金)・26日(土)
なお、公開市民講座を9月26日(土) 13：30から予定しております（後述）。
2. 会 場： 東北大学（川内北キャンパス）〒980-8576 仙台市青葉区川内41
会場へのアクセスについては、大会ホームページをご覧ください。
<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/>
3. 企 画
 - (1) 一般講演（9月24日午前・25日午後・26日午前）
 - ・講演時間は1題につき15分（発表12分、質疑応答3分）を予定しています。
 - PC用プロジェクター機材のみを用意します。各自発表用PCをご持参ください。
 - ・一般講演では、第84回大会から試行的に始まった国際セッション枠を設けます。これは日本遺伝学会の国際化を進めるうえで、遺伝学分野に在籍する留学生の学会入会と大会参加の奨励を目的としており、発表と質疑応答のすべてを英語でおこなうセッションです。興味のある留学生がいましましたら是非お誘いください。なお、大会ホームページでは英語版の参加登録・演題登録ページ (<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/en.html>) をご用意しております。
 - (2) シンポジウム及びワークショップ（9月24日午前・25日午前・午後）
シンポジウム1件、ワークショップ12件を予定しています。タイトルと世話人は以下のとおりです（一部、仮題を含みます）。なお国際公開シンポジウム講演においても、国際セッション枠での講演を設けます。

【国際公開シンポジウム】

Molecular Evolution and Population Genetics in Asia

- ・日 時：9月25日 9：00-13：00（9：00-11：30）
- ・世話人：Satta Yoko, Gojobori Jun (Sokendai)
- ・概 要：ヒト1,000人ゲノムプロジェクトや多数の非モデル生物のゲノム解析などを可能にした技術的な進歩によって、各種生物のゲノム情報に関するビッグデータが急速に拡大、構築されつつある。こうしたビッグデータは、進化学の研究課題の設定やその取組み方に多大な影響を及ぼしている。本シンポジウムでは、日本を含めてアジア諸国から5人の研究者を招聘し、ゲノムレベルの分子進化学と集団遺伝学における最先端の発見や今日的な研究課題とともに将来的な展望について講演していただく。

Thanks to the recent technological advancement that allows one to construct and use genome open databases as done for 1,000 human genomes and genomes from non-model organisms, genomic big data in various species have been growing in an unprecedented rate and scale. We have already witnessed that such data have profoundly affected the way of our thinking of significant problems and how to solve them. This symposium brings together five top researchers from Asian countries including Japan to address recent excitements, challenges and future perspectives in today's molecular evolution and population genetics.

【ワークショップ】

WS1：マウス遺伝学による疾患研究の最前線

- ・日 時：9月24日 10：30-12：15
- ・世話人：荒木 喜美（熊本大学）、奥村 和弘（千葉県がんセンター）
- ・概要：近年の次世代シーケンサーによる飛躍的な遺伝子解読技術は、ヒト疾患に関連する膨大な遺伝情報を集積させている。それらの遺伝情報を基盤としたゲノム機能解析を個体レベルで行うには、マウスは優れたモデル動物であり、その重要性は益々増大している。本ワークショップでは、疾患モデル、遺伝子改変マウスを用いて独創的な研究を進める研究者に、最新の成果についてご講演をいただき、生命科学研究においてマウス遺伝学が果たす役割について議論したい。

WS2：「生命」への多面的アプローチ —ショウジョウバエをモデルとして

- ・日 時：9月24日 10：30-12：15
- ・世話人：栗崎 健（杏林大学）、上田 龍（遺伝研）
- ・概要：遺伝学的解析に優れたショウジョウバエはモデル生物として様々な研究領域で幅広く利用されている。本ワークショップでは、多様な研究分野で独創的な研究を展開する方々に、(1)それぞれの研究分野における根源的な課題と問題点、(2)課題追求におけるショウジョウバエ研究の利点と特色、(3)これまでの取り組みと今後の展望について紹介して頂く。講演を通して、これからの生命科学研究におけるショウジョウバエ研究の役割と可能性について考えたい。

WS3：どこから来たのか、そしてどこへ行くのか —ヌクレオチド損傷をとりまく仕組み

- ・日 時：9月24日 10：30-12：15
- ・世話人：梅津 桂子（福岡歯科大学）、布柴 達男（国際基督教大学）
- ・概要：DNA損傷はDNA上で直接生じるだけではなく、前駆体であるヌクレオチドが酸化や脱アミノ化などの損傷を受けて取り込まれることでも生じる。RNA前駆体のリボヌクレオチドも同様の損傷を受けるが、リボヌクレオチドはエネルギーの貯蔵、細胞内シグナル伝達やタンパク質の機能調節にも関わっており、損傷の影響も多岐にわたると考えられる。本ワークショップでは、損傷ヌクレオチドの生成から生物学的影響、さらにそれらを制御するための仕組みについて総括したい。

WS4：ショウジョウバエの神経遺伝学（発生、性行動、記憶から疾患まで）

- ・日 時：9月25日 9：00-10：45
- ・世話人：鈴木 崇之（東京工業大学）
- ・概要：近年ショウジョウバエの遺伝学は様々な遺伝学的ツールの開発によって、神経分野においても花が開こうとしている。大会の開催地である東北大学を中心に、ショウジョウバエの神経遺伝学をリードする研究室から演者をお迎えして、最新の神経遺伝学のホットトピックをご紹介したい。ショウジョウバエの比較的単純明快な神経回路を時には人工的に操作することによって、発生、性行動（オスがメスを追う思考）、記憶のメカニズムから神経変性疾患のモデルまで、鋭く切り込んでいる興味深いトピックを取り上げる。

WS5：多角的アプローチによるゲノム維持継承研究の最前線（※演者一部公募）

- ・日 時：9月25日 9：00～10：45
- ・世話人：古郡 麻子（奈良先端科学技術大学院大学）、川上 広宣（九州大学）
- ・概 要：DNA複製・修復・組換え・接着・分配といったゲノムの安定的な維持継承機構は正常な遺伝のための要である。これまで遺伝学により多くの歴史的発見がなされ、近年は生化学や構造生物学、一分子解析などによる先駆的研究も数多い。本ワークショップは従来の遺伝学の枠におさまらない気鋭の若手研究者を迎え、自由な発想と自在な手法による創造的なゲノム維持継承研究を俯瞰する。演題を数題一般から公募し、活発な議論の場としたい。

WS6：遺伝子の解析から見えるヒストンの機能と進化（※演者一部公募）

- ・日 時：9月25日 9：00～10：45
- ・世話人：松尾 義則（徳島大学）
- ・概 要：ヒストンの修飾や置き換えによってクロマチンの再構築が起こり、遺伝子の発現調節やエピジェネティクスに大きな役割をしていることが明らかになってきた。ヒストン遺伝子のゲノム上の存在様式や遺伝子の構造はかなりバリエーションに富んでおり、繰り返しユニット間の違いも含め、これらの違いが何らかの機能と関連しているかどうかは、複製依存で発現するかどうか以外は不明なことが多い。そこで、いくつかの生物ゲノムからのヒストン遺伝子の解析例を報告していただき、遺伝子面からのヒストンの機能や進化についてのディスカッションをおこないたい。

WS7：レトロエレメントによる哺乳類トランスクリプトーム制御

- ・日 時：9月25日 11：00～12：45
- ・世話人：一柳 健司（九州大学）、相澤 康則（東京工業大学）
- ・概 要：哺乳類ゲノムのうち、エキソン領域は3%もなく、残りの領域の多くは機能未知であるが、その約半分はレトロトランスポゾンや内源性レトロウイルスに由来する配列「レトロエレメント」によって占められている。これらのレトロエレメントが遺伝子発現などのゲノム機能制御に重要な役割を果たしていることが分かってきたが、特に近年、細胞の全能性・多能性獲得、ガン化、遺伝子発現多様性に深く関わっていることが明らかにされており、本ワークショップではこれらの研究の最新の知見を紹介して頂きつつ、今後の方向性について議論する。

WS8：分節型ウイルスにおける遺伝子再集合による進化

- ・日 時：9月25日 11：00～12：45
- ・世話人：小林 由紀（日本大学）、鈴木 善幸（名古屋市立大学）
- ・概 要：ウイルスの大部分は単一のDNAあるいはRNA分子をゲノムとしてもつが、オルソミクソウイルスやレオウイルスなどのゲノムは分節型であり、進化の過程でゲノム分節を単位とした組換え（遺伝子再集合）によりパンデミックを引き起こすことがある。遺伝子再集合はランダムでなく、ゲノム分節間には宿主因子をもまきこんだ核酸レベル・蛋白質レベルでの適合性決定因子が存在すると考えられるが、その実体は不明である。本ワークショップでは、分節型ウイルスにおける遺伝子再集合のパターンやパッケージングシグナルなどについての最先端の研究成果をご講演いただき、その進化機構にせまる。

WS9：ゲノムの進化と多様性研究の最前線

- ・日 時：9月25日 11：00～12：45
- ・世話人：佐藤 行人（東北大学）、山口 由美（東北大学）
- ・概 要：全ゲノムの塩基配列決定と大量情報解析の時代となり、膨大なデータが得られるようになった。データを妥当に解釈していくには、適切なデータ品質管理と共に、ゲノムの進化の過程および多様性の実態についての理解が大切である。本ワークショップでは、1) ゲノムの進化過程、および、2) ヒトゲノム多型の実態と疾患との関係、の立場か

ら最新の研究の知見を紹介して頂く。そして、個人ゲノム時代での有用な遺伝情報活用について討論したい。

WS10：エピジェネティクスと進化学の結びつきを再考する

- ・日 時：9月25日 14：00～15：45
- ・世話人：吉田 恒太（遺伝研）、吉田 貴徳（京都産業大学）
- ・概 要：エピジェネティクスと進化学との強い関係が言われて十年以上たつが、未だ進化学にエピジェネティクスが十分に取り入れられているとはいえない。逆に、エピジェネティクスの進化学なくして、その機構の一般性を議論することは難しい。この十数年間のエピジェネティクス研究の進展をもとに、その可能性、課題を再考する必要がある。本ワークショップでは、エピジェネティクスと進化学の架け橋となる研究をされている演者を集め、その最新の知見をお話いただくとともに、その具体的手法や可能性について議論していきたい。

WS11：細胞遺伝学の新たな地平と染色体研究の今

- ・日 時：9月25日 14：00～15：45
- ・世話人：松永 幸大（東京理科大学）、河野 重行（東京大学）
- ・概 要：分子生物学や生化学の発展と共に、細胞遺伝学が新たに脚光を浴びてきた。日本の細胞遺伝学の最先端分野で活躍する5名に講演を頂く。植物分野から3名、動物分野から2名の染色体研究者の講演を行い、動植物学の両分野から細胞遺伝学研究の今後の展開を議論する。また、日本の細胞遺伝学の伝統を振り返る意味を込めて、創刊後86年を迎えた国際細胞遺伝学雑誌 CYTOLOGIA の歴史を紹介する。本ワークショップは日本メンデル協会の共催で開催する。

WS12：ゲノムと OMICS の比較から現れた遺伝と進化をめぐる驚き

- ・日 時：9月25日 14：00～15：45
- ・世話人：小林 一三（東京大学）、岡田 典弘（国際科学振興財団）
- ・概 要：ゲノム関連のイノベーションによって、多数の全ゲノム配列、大量の OMICS データが蓄積している。それらを詳細に比較することから、予想もしなかった遺伝と進化の実像が明らかになりつつある。本ワークショップでは、様々な分野から最近の興味深い例について紹介する。（なお、講演者のうち3名（小林一三、矢野大和、寺内良平）は、科研費新学術「ゲノム遺伝子相関」領域（～2015）のメンバーである）。

4. 総会・受賞講演

- ・日 時：9月24日(木) 14：00～18：00（プレナリーワークショップを含む）
- ・会 場：東北大学（川内北キャンパス）S 会場（M206教室）

5. 懇親会

- ・日 時：9月24日(木) 18：30～20：30
- ・会 場：江陽グランドホテル（仙台市青葉区本町2丁目3-1 TEL：022-267-5111）

6. ナイトゼミナール（分野別懇親会）

- ・日 時：9月25日(金) 18：30頃～
（詳細は追って大会ホームページ等でお知らせします。）

7. 参加登録

参加の申し込みは、6月1日(月)10：00から8月20日(木)までの間に、大会ホームページ（<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/>）から登録してください。講演される方は、別途「演題申し込み」が必要になります。

なお、参加登録時に男女共同参画推進のための簡単なアンケート（2分程度）をお願いしていますので、

ご協力をお願いします。

Web からの参加登録や一般講演の申し込みができない場合には、運営準備室（近畿日本ツーリスト北海道に委託しています）までご連絡ください。

主な締切日などは以下のとおりです。

6月1日(月)	演題登録・事前参加登録の受付開始
7月17日(金)	演題登録の締切・発表者の事前参加登録締切
7月末日まで	発表者への採否通知（メールをお送りする予定です）
8月5日(水)	発表者の参加費支払期限
8月10日(月)	大会ホームページにプログラム掲載予定
8月20日(木)	事前参加登録の締切
9月4日(金)	事前参加登録者の参加費支払期限
9月10日頃	プログラム・予稿集、参加証がお手元に届きます

第87回大会では「演題登録」と「事前参加登録」は全く別のシステムにて手続をしていただきます。

また参加費の支払方法についても、従来の「ゆうちょ銀行払込」は使用いたしません。銀行振込、コンビニエンスストア店頭での支払、クレジットカードでの決済の3種からお好きな方法をお選びいただくように変更しております。

そのため、「ゆうちょ銀行払込」の用紙は綴じ込みしておりません。

以降のご案内をお読みいただき、演題登録ならびに事前参加登録の手続きをおすすめください。

申込の手順【演題登録をされる方】

- 1) 大会ホームページ (<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/>) の演題登録ページをご覧ください。発表の申込をおこなってください。演題登録手続は発表者がおこなってください。また発表者は本学会会員に限ります。
会員の方は2015年度までの遺伝学会費を7月1日(水)までに納めてください。非会員で一般講演の発表を希望される方は、先に入会手続を、日本遺伝学会ホームページ (<http://gsj3.jp/tetuzuki.html#nyukai>) からお願いします。
※締切日：7月17日(金)
- 2) 大会ホームページ (<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/>) の事前参加登録のページをご覧ください。事前参加登録の申込をおこなってください。
※締切日：7月17日(金)
- 3) 運営準備室より、事前参加登録に関する確認のメールが届きます。支払内容を確認のうえ参加費を送金ください。
※締切日：8月5日(水)

申込の手順【演題登録をしない方】

- 1) 大会ホームページ (<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/>) の事前参加登録のページをご覧ください。事前参加登録の申込をおこなってください。
※締切日：8月20日(木)
- 2) 運営準備室より、事前参加登録に関する確認のメールが届きます。支払内容を確認のうえ参加費を送金ください。
※締切日：9月4日(金)

参加費

	事前参加登録 (締切日：8月20日(木))		大会当日登録	
	大会参加費	懇親会費	大会参加費	懇親会費
一般会員	7,000円	7,000円	8,000円	8,000円
学生会員	無料	4,000円	無料	5,000円
一般非会員	9,000円	7,000円	10,000円	8,000円
学生非会員	無料	4,000円	無料	5,000円

学生非会員での登録の場合のみ、プログラム・予稿集は大会当日、会場での実費販売となります（1部1,000円）。一般会員・非会員でプログラム・予稿集の追加購入をご希望の場合は1部3,000円で販売いたします。

学生（会員・非会員）で当日登録をされる場合は、学生証の提示が必要です。

現在非会員で、会員としての参加を希望する方は、参加登録をする前に、入会手続きと会費納入をおこなってください（<http://gsj3.jp/tetuzuki.html#nyukai>）。

参加費の支払い

前述のとおり、銀行振込、コンビニエンスストア店頭での支払、クレジットカードでの決済の3種からお好きな方法をお選びいただきます。

Webでの事前参加登録手続にて支払方法の指定をし、運営準備室からの確認メールをご覧いただいたあとに参加費を送金いただくようになります。

8. 演題登録

受付期間：2015年6月1日(月) 10:00～7月17日(金) 18:00

一般講演の発表申込や、シンポジウム・ワークショップの要旨登録は、大会ホームページ（<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/endai.html>）の「演題登録」ボタンからおこなってください。発表申込をされる方は2015年7月17日(金)までに事前参加登録を必ずお済ませください。

- ・留学生会員や海外からの参加者のために、一般講演の一部を国際セッション枠とし、英語による発表に限定します。英語での発表を希望される方は必ず発表言語の選択肢で（English）をご選択ください。留学生の指導教員の先生方には登録のアシストを宜しくお願いいたします。なお大会ホームページでは、英語による参加登録・講演申込のページもご用意しております（<http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/en.html>）。

【注意事項】

- ・講演の申し込みは、一般講演およびシンポジウム、ワークショップを含め、1人1題を原則とします。
- ・一般講演で発表できるのは、日本遺伝学会の会員のみとさせていただきます。会員の方は2015年度までの遺伝学会費を7月2日(木)までに納めてください。非会員で一般講演の発表を希望される方は、先に入会手続きを、日本遺伝学会ホームページ（<http://gsj3.jp/tetuzuki.html#nyukai>）からお願いします。
- ・演題登録の際に、予稿集用原稿（全角300字／半角の場合は600字）と GGS 掲載用の英語要旨原稿（1,200 characters）の両方の登録をお願いします。ただし、英語要旨については大会終了後に提出しても構いません。その場合、英語要旨の欄には“To be submitted later”と入力して登録し、10月9日(金)までに最終版の英語要旨を登録してください。英語要旨の投稿について7月17日(金)の締切後の登録方法については、別途ホームページ等でお知らせします。
- ・なお、日本遺伝学会では予稿集用原稿は英語での作成を推奨しております。
- ・演題の修正には演題登録番号が必要になりますので、番号を忘れることがないように、登録完了の通知メールを保存しておいてください。もし、登録番号を忘れてしまって登録の修正が必要な場合は、第87

回大会運営準備室までお問合せください。

9. 学生会員の旅費援助

学生会員の参加奨励のため、発表する学生会員に旅費の一部を援助（交通費実費程度）します。ただし、所属研究室や日本学術振興会などから旅費が支給される方はご遠慮ください。

＊9月24日(木)～26日(土)の大会全期間の参加を条件とします。

申請方法：申請書は、1人につき以下の6項目をA4用紙1ページに記載し、下記まで郵送してください。

1) 氏名、2) 所属と学年、3) 所属住所、4) 旅費援助希望理由、5) メールアドレス、6) 指導教員のサインと押印

締切日：7月3日(金) 必着

送付先：〒411-8540 三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内 日本遺伝学会

日本遺伝学会第87回大会 旅費援助申請係

TEL: 055-981-6736 FAX: 055-981-6736

10. Best Papers 賞

昨年の大会と同様の要領で、大会発表の一般演題の中から優れた研究発表10題前後を選んで、Best Papers 賞（BP 賞）として表彰します。

なお、昨年度 BP 賞の一部は、学会長主催プレナリーワークショップとして講演披露されます。

11. 2015年度男女共同参画推進にかかわる大会参加支援について（日本遺伝学会から）

日本遺伝学会では、毎年の大会開催に際し、大会準備委員会による保育室の設置とともに、学会として保育室利用料金の半額支援を行ってまいりました。支援の多様化に対応するために、第83回大会から1件の上限を5万円とする大会参加支援を新設いたしました。

この支援は、大会参加のための旅費、大会参加中の保育に関わる費用、大会参加者が不在になることによって保育や介護に必要な費用等に充てていただくためのもので、大会準備委員会にて設置する保育室の利用についてもこの支援に含むものといたします。利用をご希望の方は、この大会参加支援への申請により、ご希望をお寄せください。

この支援には、育児休暇や介護休暇中であっても応募できるものとしております。どうか奮ってご応募ください。

記

支援額：1件5万円を上限とする。総額15万円程度を予定。

（保育室の利用料金については、大会準備委員会へお問い合わせください。）

支援の対象：第87回大会に参加を希望する日本遺伝学会員。性別、年齢、発表の有無は問わない。ただし、男女共同参画推進に該当する事情がある者。

応募方法：「大会参加支援申請書」（別紙様式1）に必要な事項を記入し、日本遺伝学会事務局（japgenet@nig.ac.jp）へメールで送付する。

申請の受付：2015年6月1日～7月31日

支援の決定：日本遺伝学会幹事会において迅速に書類審査を行う。審査結果は日本遺伝学会事務局より通知する。

支援の交付：第87回大会受付にて交付する。

成果の報告：大会終了後に大会参加成果報告書（別紙様式2）を日本遺伝学会事務局へ提出する。

＊様式1、および2は、日本遺伝学会ホームページ（<http://gsj3.jp/taikai.html>）から入手できます。

12. 参加登録時におけるアンケートについて（男女共同参画推進特別委員会より）

日本遺伝学会は男女共同参画学協会連絡会に加盟し、学会における女性研究者の活動度の現状の調査に協力して、2010年に大会参加者の属性に関するアンケートを実施いたしました。その後も、本学会の活性化と今後のよりよい大会運営をはかるためにも有意義なものとして、学会として同様のアンケートを実施し、皆様のご協力をいただきました。

今年も引き続き、大会への参加登録に際して、性別、職階、大会への参加等に関して、簡単なアンケートを実施させていただく予定です。各項目とも回答は選択式で、2～3分で終了いたしますが、回答は任意ですので、お答えいただける範囲で結構です。また、回答は統計的に処理いたしますので、個人を特定する情報として利用されることはありません。

アンケート実施へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

13. 公開市民講座

テーマ：パーソナルゲノム時代の遺伝学と人間社会

日時：2015年9月26日(土) 13:30～16:10

会場：仙台国際センター大ホール

入場無料、申し込み不要です。会場までお越し下さい。

なお本シンポジウムは、日本学術振興会 平成27年度科学研究費助成事業 研究成果公開促進費「パーソナルゲノム時代の遺伝学と人間社会」の助成を受けたものです。

概要：近年のゲノム解析技術の飛躍的發展により、個人ごとのゲノム塩基配列情報が低コストで得られるパーソナルゲノム時代が到来し、個人遺伝子検査の一般向けサービスが開始されたため、ゲノムについての国民の注目度は高い。このような状況下で、ゲノムについての基礎知識や正確な情報を、ゲノム研究やゲノム情報の専門家から市民に分かりやすく伝えることが求められている。本公開市民講座では、ゲノムの概念の変遷とゲノム解析技術の最近の急速な進歩について一般向けに解説し、人の個人遺伝子検査を中心に、ゲノム情報の利用による食料生産までも含め、幅広く人間社会に影響するゲノム情報とその利用について紹介する。

「ゲノム概念の変遷とパーソナルゲノム時代へ」

遠藤 隆（日本遺伝学会 学会長）

「ゲノム解析技術の進歩とパーソナルゲノム」

田畑 哲之（かずさ DNA 研究所 所長）

「個人遺伝子診断の現状と期待」

安田 純（東北大学医学研究科 教授）

「個人遺伝子情報と社会」

鈴木 洋一（東北大学医学研究科 教授）

「パーソナルゲノム時代の食料研究」

倉田 のり（国立遺伝学研究所 教授）

14. 日本遺伝学会第86回大会組織委員会

大会委員長 西尾 剛（東北大学大学院農学研究科）

大会副委員長 木島 明博（東北大学大学院農学研究科）

事務局 長 北柴 大泰（東北大学大学院農学研究科）

プログラム委員長 伊藤 幸博（東北大学大学院農学研究科）

プログラム副委員長 山口 由美（東北大学東北メディカル・メガバンク機構）

プログラム委員 河合 洋介（東北大学東北メディカル・メガバンク機構）

佐藤 行人（東北大学東北メディカル・メガバンク機構）

三澤 計治（東北大学東北メディカル・メガバンク機構）

原田 昌彦（東北大学大学院農学研究科）

牧野 能士（東北大学大学院生命科学研究所）

山元 大輔（東北大学大学院生命科学研究科）

山本 雅也（東北大学大学院農学研究科）

15. 連 絡 先

日本遺伝学会第87回大会事務局

東北大学大学院農学研究科 植物遺伝育種学研究室

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1

e-mail: gsj87@ml.tohoku.ac.jp

日本遺伝学会第87回大会運営準備室

（株）近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店

〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目 日通札幌ビル6階

Tel：011-280-8855 Fax：011-280-2732

e-mail: s-convention-1@or.knt-h.co.jp

◆会 員 異 動◆

新入会・再入会

小 野 聖二郎	411-8540	静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所 実験圃場
堀 家 慎 一	920-0934	石川県金沢市宝町13-1 金沢大学・学際科学実験センター・ゲノム機能解析分野
塚 本 恭 正	020-0751	岩手県滝沢市大釜千が窪14-1 岩手看護短期大学 看護学科
小 野 明 美	244-0813	神奈川県横浜市戸塚区舞岡町641-12 横浜市立大学木原生物学研究所

退 会

木下ゆかり, 平井洋行, 藤島弘純, 原島 俊, 米田好文, 本間雄二郎, 稲垣善茂, 藪谷 勤, 金野柳一, 熊谷千鶴子, 三宮正信

寄贈図書・交換図書

科学	Vol. 84	No. 6	(2015)
CHINESE QINGHAI JOURNAL OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES	Vol. 45	No. 2	(2015)
Acta zoologica cracoviensia	Vol. 57	No. 1-2	(2014)
folia biologica	Vol. 63	No. 1-4	(2015)
ChineseJournal of APPLIED & ENVIRONMENTAL BIOLOGY	Vol. 20	No. 6	(2014)
JOURNAL OF CHINA-JAPAN FRENDSHIP HOSPITAL	Vol. 28	No. 4-6	(2014)

日本遺伝学会会則

- 第1条 本会は日本遺伝学会と称する。
- 第2条 本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及を計ることを目的とする。
- 第3条 本会は事務所を静岡県三島市谷田、国立遺伝学研究所内におく。
- 第4条 本会に入会しようとするものは住所、氏名および職業を明記して本会事務所に申し込むこと。
- 第5条 本会会員は普通会員、機関会員、賛助会員および名誉会員とする。毎年普通会員は会費10,000円（ただし在学証明書またはそれに代わるものを提出したとき、あるいは定年退職して常勤職でなくなったことを申し出たときは6,000円）を、機関会員は15,000円を、賛助会員は1口（20,000円）以上を前納すること。会員で会費滞納1年におよぶものは資格を失うものとする。
- 第6条 本会は次の者を総会の決議により名誉会員にすることができる。
本会に功労のあった者、外国の卓越した遺伝学者。
- 第7条 本会は隔月1回遺伝学雑誌を発行して会員に配布する。
- 第8条 本会は毎年1回大会を開く。大会は総会と講演会とに分け、総会では会務の報告、規則の改正、役員の選挙および他の議事を行い講演会では普通会員および名誉会員の研究発表をする。
大会に関する世話は大会委員若干名によって行い、大会委員長は会長が委嘱する。大会は臨時に開くことがある。
- 第9条 本会は各地に談話会をおくことができる。
- 第10条 本会は会長1名、幹事若干名、会計監査2名の役員、および評議員若干名をおく。
1) 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
2) 会長は、評議員が全普通会員の中から選出した複数の候補者から普通会員による直接選挙によって選出される。
3) 評議員は、普通会員による直接選挙で選出される。
4) 幹事は、会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される。
5) 会計監査は、会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される。
6) 会長は評議員会を招集し、その議長を務める。幹事は評議員会に出席するものとする。
7) 評議員会は会員を代表して、事業計画、経費の収支、予算・決算、学会誌の発行、大会の開催、その他重要事項について審議し、出席評議員の過半数をもって議決する。
8) 会長ならびに幹事により幹事会を構成し、会長がこれを代表する。
9) 幹事会は、学会の関連事項を論議し評議員会に諮ると共に、会務を執行する。
10) 会計監査は、学会の会計を監査する。
- 第11条 役員および評議員の任期は2カ年とする。会長および評議員は連続三選はできない。
- 第12条 本会の事務年度は暦年による。
- 付則 平成7年10月13日に第5条を改正し、平成8年1月1日から施行する。
- 付則 平成21年9月17日に第5条を改正し、平成22年1月1日から施行する。

Genes & Genetic Systems 第90巻1号（付録） 2015年6月19日発行 非売品 発行者 遠藤 隆 印刷所 レタープレス株式会社 Letterpress Co., Ltd. Japan 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809-5番地 電話 082 (844) 7500 FAX 082 (844) 7800 発行所 日本遺伝学会 Genetics Society of Japan 静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内	学会事務取扱 〒411-8540 静岡県三島市谷田・国立遺伝学研究所内 日本遺伝学会 http://gsj3.jp （電話・FAX 055-981-6736） （振替口座・00110-7-183404） 加入者名・日本遺伝学会 国内庶務、渉外庶務、会計、企画・集会、将来計画、編集などに関する事務上のお問い合わせは、各担当幹事あてご連絡下さい。 乱丁、落丁はお取替えます。
---	--